

インフラ大賞

インフラとわたしたちの生活  
おおぞら小学校 六年 二羽 凜心  
わたしの楽しかった思い出に、インフラが  
関わっていた事には、びっくりしました。  
インフラによってできた高速道路のおかげ  
で、わたしたちの修学旅行が支えられたと思  
うのです。  
岩手県への一泊二日の旅行は、もしも新幹  
線や高速道路がなかったら倍以上の時間がか  
かり、一か所見てもすぐホテルに向かわなけれ  
ばならなかったかもしれません。  
修学旅行のようない生に一度の思い出をだ  
いなしにしないためには、時間に余裕を持た  
せてくれるインフラがとても大切だと分かり  
ました。  
正直、わたしは、インフラを知りませんで  
した。教材で勉強する手では、わたしたちの  
生活と関わりのあるものだと分からなかった  
です。けれども、勉強した後では、気持ちがあ  
げました。

インフラ大賞

一番思ったのは、インフラは「つながり」も  
のたという事です。インフラは、特別な人た  
ちだけが便利に使うものではなく、全国の一  
ぼんの人たちが、住んでいる場所に関係なく  
つながって生活が豊かになるという事です。  
例えばインフラのおかげで、青森県の魚が  
全国に運ばれていたり、各県の特産品など  
が、それぞれ全国に広がっていたりすると  
いう事です。インフラの力で日本を「つながり  
という事は、まちができていないな」と思いま  
す。

今は、大量の物が運ばれる事がとても便利  
に思えますが、わたしが未来に期待している  
のはもっと小さな事です。  
セグウェイのような小さな乗り物が車のかわ  
りになるように、道が整備されればいいな  
と思います。

ガソリンいらすずで運転できるので、石油を  
燃料ではなく葉などちがう事に使えるからい  
いと思っただからです。

インフラ大賞

あともう一つあります。それは乗り物に行  
きたい所を話せば、そこまで運転しなくても  
連れて行ってくれるというものです。  
その方が楽し、自動運転ならちゃんとな  
通ルールを守れると思つたからです。  
インフラは、整備するのにたいへんなお金  
がかかると思います。  
でも、身近なところから計画的に整備して  
いくことでインフラはより力を発揮すると思  
います。

港から魚を届ける時は・・・①歩いて運  
ぶ②自転車運ぶ③車で運ぶ④トラックで運  
ぶ⑤コンテナに積んで列車で運ぶ⑥飛行機で  
運ぶ・・・その仕事に合わせたインフラを  
選ぶことによつて時間やエネルギー、使い  
などがむだなくできることに関連ついている  
なと心に残りました。

わたしたちは、インフラを支えてくださつ  
ている方たちに感謝をして、生活していかな  
ければならないなと思ひました。